

「看護に活かすコミュニケーション技術」 学習会を行いました！

- ・講師は東葛病院リハビリテーション部長の加川豊さん。都内、東葛ブロックの訪問看護ステーションから21名が参加しました。
- ・訪問看護の質向上のために取り組んできた利用者満足度調査の結果を受け、看護師として私たちが求められている“利用者さん・ご家族を大切に思っていることが伝わる話し方”を学びあいました。

相手に大切に思っている事が伝わる
接し方とは…

自分が信頼していない人からは
信頼されないよね



- ・信頼関係構築の心理的プロセスとして、「自分が信頼していない人からは信頼されない」ということ。「相手に共感し、信頼している」という思いがあつてのスキルであること。スキル(コーチング)として傾聴、承認、質問があり、それは技術であることを学習しました。

・学習したコーチング技術を用いながら、ロールプレイにて実際の訪問看護場面を想定し看護師役、利用者役でお話ししました。観察者が気づきを指摘します。

事例) どうしても入院したくない利用者さんとお話ししながら、利用者さんの思いを引き出してみよう。

相手を認めながら・・・



傾聴って難しい・・・



利用者さんの気持ちを感じることができ、自分の癖がわかりました。

参加者それぞれが自分の課題に気づき、今後の行動計画を作成し研修終了です。

・明日から具体的に実践!! 今後も利用者さんに寄り添い、住み慣れた地域での暮らしを応援していきたいと思えます!

東京勤医会訪問看護と一緒に働く看護師さん大募集しています(^o^)

詳しくは看護部HPをごらんください